

白湯山



阿寒摩周国立公園

白湯山

白湯山は阿寒湖温泉の南側に位置する標高 950mの山です。冬には国設阿寒湖畔スキー場として利用されていますが、展望台と自然探勝路も整備されているため、春夏秋冬の阿寒湖の景色を楽しむことができます。

頂上やゲレンデからは阿寒湖を一望でき、温泉が流れる川やボッケを見ることができ、見どころ満載のハイキングコースです。



スキー場→白湯山展望台

スキー場ネイチャーハウスから初心者コースのゲレンデを登り、白湯山展望台を目指します。約 2km の道のりで片道 1 時間 30 分という手軽さではありますが、一番の難所はゲレンデの斜面。阿寒湖や雄阿寒岳などの景色を楽しみながら、ゆっくり坂道を登っていきましょう。

途中、温泉の流れる小川やボッケなどの探勝ポイントを通りすぎると、開けた展望台（標高 788m）へと到着です。

春先にはエゾオオサクラソウが見頃を迎え、秋ごろは色とりどりの広葉樹が登山者の目を癒してくれ、季節によって様々な楽しみ方がある散策路です。

温泉の流るる沢

ゲレンデを登り、白湯山自然探勝路の看板を超えて 20 分ほど歩くと、左手に白濁色の沢が流れ、その景色はまさに「白湯山」と名がつくだけあり、見どころの一つです。

温泉からの蒸気や硫黄の匂いだけを楽しむのも良いですが、せっかくであれば触れて楽しむのもオススメ。沢を渡るように整備された木道から、沢へ降りることができます。天候などによっては沢の温度も変化するため、実際にご自身の手で確かめてみてください。

ボッケ

ボッケとは、アイヌ語で「煮え立つ場所」を意味し、火山活動の泥火山という現象のことを言います。阿寒湖周辺には大きなボッケがいくつかありますが、登山中に見られるのはこの白湯ボッケだけです。

白湯ボッケは泥火山の他にも温泉が湧いていることから、冬になると周辺は湯気に覆われ、朝日に照らされるとさらに幻想的な世界となります。さらに周辺の木々は霧氷に覆われていることもあり、寒い朝だからこそその景色も必見です。

川湯エコミュージアムセンター



北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6
TEL 015-483-4100

阿寒湖畔エコミュージアムセンター



北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1-1-1
TEL 0154-67-4100

噴気高原

白湯山展望台一体が地熱が高く、噴気高原となっており、木々はほとんど生育せず、ササやコケが覆い尽くしています。今までの植生から大きく変わり、その変化も面白さの一つです。

雄阿寒岳や阿寒湖温泉、そして南側の雌阿寒岳までぐるっと見渡せるうえ、腰を下ろすとほんのり地面が暖かく、休憩にはピッタリの場所。冬季も雪が積もらないので、スノーシューで疲れた体を癒すのにもちょうど良い展望台です。



冬の白湯山の歩き方

冬期は国設阿寒湖畔スキー場がオープンしているため、ゲレンデ上をスノーシューで歩くことはできませんが、ゲレンデ横の森を通って白湯山に登ることができます。その際にはスキー場のスタッフにひと声掛け、歩き方を聞きましょう。（スキー場営業時間 9：00～16：00）

また、冬山登山のため、防寒着などを着用することはもちろん、日の入り時刻などを調べてから登山に臨みましょう。



白湯山で見られる花・動物



エゾオオサクラソウ
(5～6月)



ヒメイチゲ
(5月)



スマイレ
(5～6月)



ツマトリソウ
(5月)



ミヤマハンショウヅル
(6月)



センボンヤリ
(5～6月、9～10月)